

施工説明書

本製品は、一般住宅用の製品ですので、業務用には使用しないでください。
施工の際には、必ず本説明書をお読みのうえ、正しく施工してください。
万一製品に傷・破損がありましたら、速やかにご購入された建築会社様にお申し出ください。
施工後のお申し出に対しては、当社として責任を負いかねますので、ご了解ねがいます。

安全上のご注意

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明します。

お願い	施工場所に正しく設置していただくための確認をしていただくものです。
危険	本説明書の指示通りの施工がなされない場合、部材の脱落・落下・転倒等によりケガをする恐れがあるものです。

施工上のご注意

危険	本製品は、壁・床に対してビス固定します。必要な位置にビスを保持できる木下地か、12mm以上の合板、もしくは同等のビスの引き抜き強度が保持できる下地を用意してください。 下地がないとユニットが壁に保持されず、落下転倒しケガをする恐れがあります。
-----------	--

開梱時には必ずキズの有無・部品のチェックを行ってください。また、開梱後はすみやかに施工してください。長く放置しておくと変形が生じたりキズが付いたりする恐れがあります。

本説明書と異なる施工は、しないでください。事故につながる危険性があります。本説明書とは異なった施工による返品、取り替えはご容赦ください。

養生シートを使用する際は、粘着テープ等を化粧面に貼らないでください。はがす際に化粧シートがはがれる恐れがあります。

吊戸棚030(J取手)

吊戸棚030(J取手)		名称	サイズ	数量
吊戸棚	(1)	右側板	21×365×450	1
	(2)	左側板	21×365×450	1
	(3)	中仕切板	31×346×407	1
	(4)	天板	21×364.5×1158	1
	(5)	地板	21×364.5×1158	1
	(6)	背板	17.5×1158×407	1
	(7)	右・左扉	18×396×445	3
		可動棚板(大)	12×290×757	1
		可動棚板(小)	12×290×367	1
施工説明書				1

名称		数量
スライド丁番		6個
スライド丁番取付けビス(皿タツピング 3.5×16)		12本
座金		6枚
座金取付けビス(皿タツピング 3.5×16)		18本
ダンパー金物		3個
ジョイント金物連結ボルト		20本
ジョイント金物キャップ(ブラウン)		20個
棚受けダボ($\phi 4.8 \times 25$)		8本
躯体取付用ビス($\phi 4 \times 50$)		6本
セットキャップワッシャー		6個
セットキャップカバー(黒)		6個
連結用ビス($\phi 4 \times 38$)		4本
セットキャップワッシャー		4個
セットキャップカバー(黒)		4個
クリアバンポン($\phi 8$)		6個

※連結用ビスはタイプにより使用しない(余る)場合があります

1, 連結ボルトの取付け

側板①②と天板④・地板⑤に連結ボルトを取付けてください。

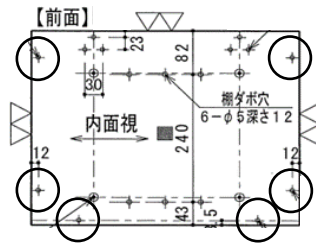
お願い

■ジョイント部品(ボルト)の取付け方法
 ※必ず手回しドライバーまたはクラッチ付ドライバーで取付けてください。
 ※適切な位置に取付けてください。組立てができなくなります。

※各パーツの○の箇所にボルトを取付けてください

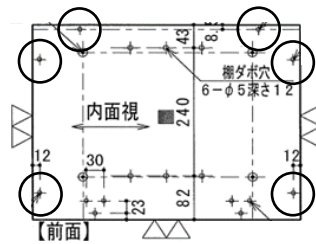
本図はR勝手
の場合を示す

【上】

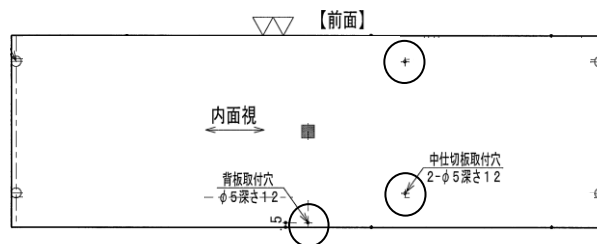


①右側板
○連結ボルト 6

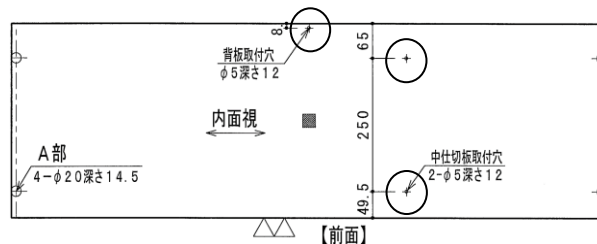
【上】



②左側板
○連結ボルト 6



④天板
○連結ボルト 3

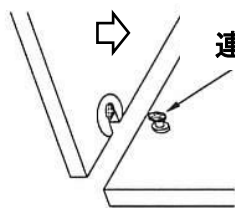


⑤地板
○連結ボルト 3

2, 丁番座金の取付

側板の前側に座金を同梱ビス(皿タッピング3.5×16)で取付けてください。

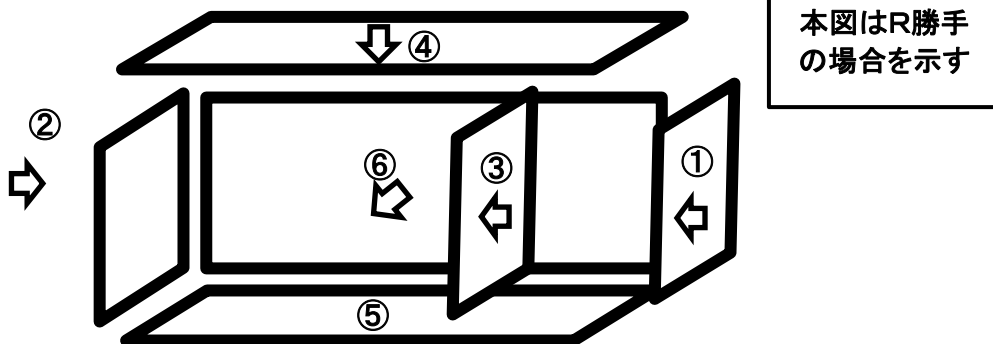
3, 組立て



連結ボルト

※連結金具の締付けは、ハンドドライバーを使用してください。インパクトドライバーを使用すると金具が壊れる恐れがあります。

地板⑤を床に置き、側板①・②中仕切板③を取付け、背板⑥天板④の順に組み立ててください。



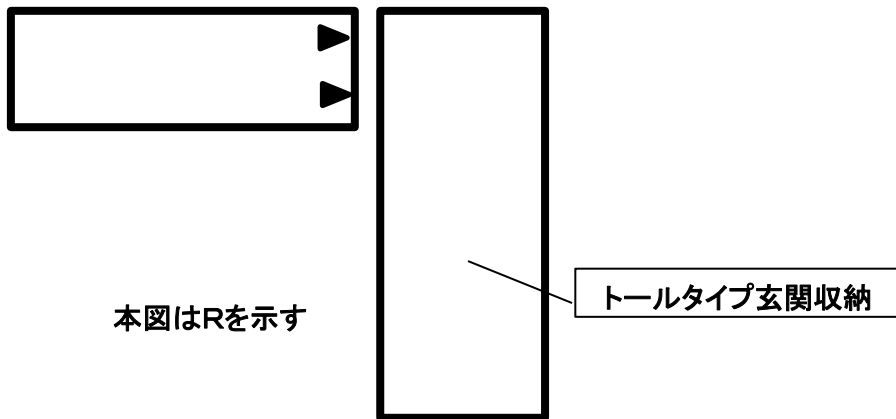
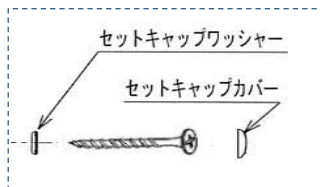
固定ができましたら、ジョイント金物キャップを取付けてください。

吊戸棚030(J取手)

施工手順

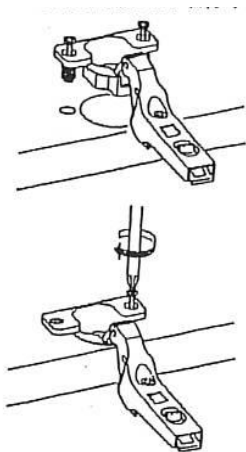
4, BOXの連結

トールタイプと連結する場合は、連結用ビス(φ4×38)4本で固定し、背板から躯体へ躯体取付けビス(φ4×50)6本で固定してください。



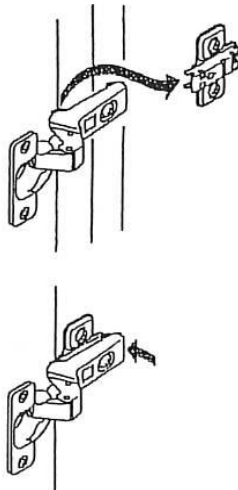
5, 丁番の取付け

扉に丁番本体を同梱ビス(皿タッピング3.5×16)で取付けてください。



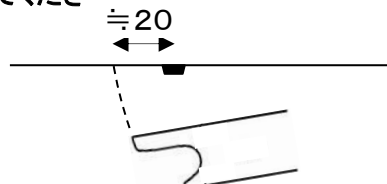
6, 扉の吊り込み

扉をBOXに吊り込んでください。



7, クリアバンポンの取付

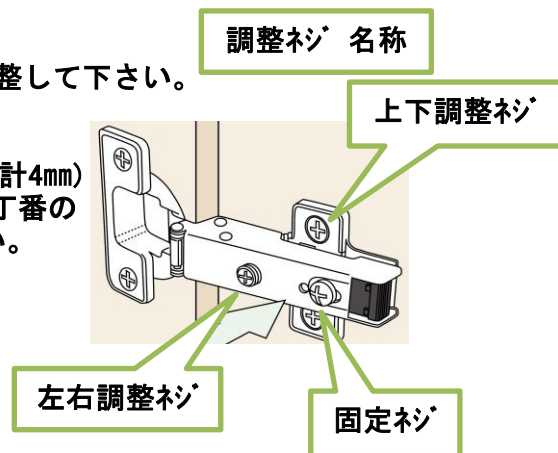
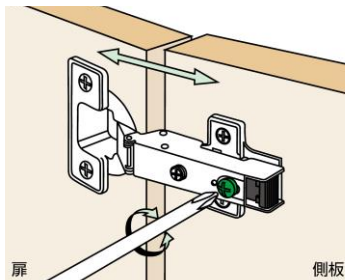
下記の位置へ天板・地板に取り付けてください。



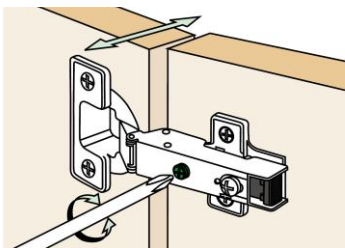
8, 扉の調整

扉を取付けた後、下記の方法で扉と本体の隙間を調整して下さい。

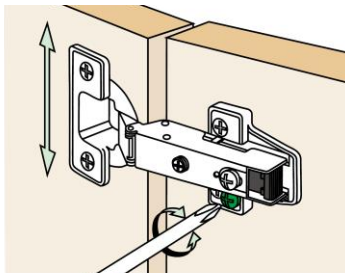
- 扉の前後調整 (調整範囲 前方向2mm 後方向2mm 計4mm)
扉が枠より飛び出したり、左右の面が合わない場合、丁番の固定ネジをゆるめて前後調整した後、締め直して下さい。



- 扉の左右調整 (調整範囲 右方向2mm 左方向2mm 計4mm)
扉が縦枠に擦れたり、扉同士が擦れている場合、丁番の固定ネジを締めたままで、左右調整ネジを回して左右調整して下さい。

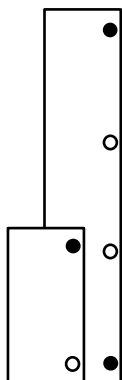


- 扉の上下調整 (調整範囲 前方向1.5mm 後方向1.5mm 計3mm)
(座金により移動が可能です)
丁番の上下調整ネジをゆるめて調整した後は必ず締め直して下さい。

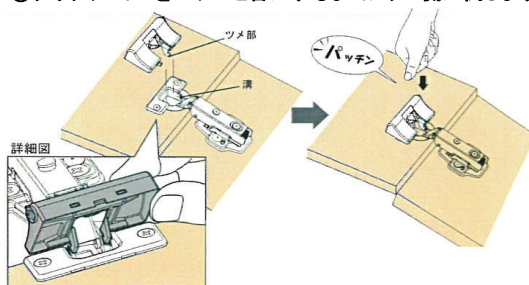


●扉ダンパー(グリッサンド3)取付け方法

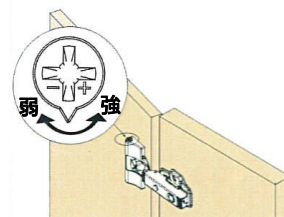
①丁番数により●の位置に取り付けてください



- ②下図のようにスライドヒンジカーブ面の溝にグリッサンド3のツメ部を差し込んでください。
- ③グリッサンド3をパチンと音がするまでカップ側に倒します。



- ④調整方法
マイナス(時計回り)⇒弱
プラス(反時計回り)⇒強
(初期位置はプラス側最大です)



- 組み合わせタイプにより、同梱の連結ビス(φ4×38)で ◀ の方から連結してください。
(セットキャップワッシャーとカバーも同梱されていますのでご使用願います)
- 連結穴は半貫通になっていますので連結する相手との位置関係に注意してください。
- 連結の必要のないBOXにも連結ビスが同梱されていますので、余る場合があります。

トールタイプ1200	トールタイプ 1600	二の字タイプ 1600	二の字タイプ 2000
<p>030-R(L)</p> <p>本図は(R)を示す</p>	<p>040-</p>	<p>044-</p>	<p>055-R(L)</p> <p>本図は(R)を示す</p>
一の字タイプ 1600	一の字タイプ 2000	L型タイプ 1200	L型タイプ 1600
<p>004-</p>	<p>005-R(L)</p> <p>本図は(R)を示す</p>	<p>012-R(L)</p> <p>本図は(R)を示す</p>	<p>022-R(L)</p> <p>本図は(R)を示す</p>
L型タイプ 2000	コの字タイプ 1200	コの字タイプ 1600	コの字タイプ 2000
<p>023-R(L)</p> <p>本図は(R)を示す</p>	<p>014-R(L)</p> <p>本図は(R)を示す</p>	<p>024-R(L)</p> <p>本図は(R)を示す</p>	<p>026-R(L)</p> <p>本図は(R)を示す</p>